

キートンの警官騒動 (1922)

COPS

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 20分

初公開日 1973/06

公開情報 フランス映画社

【解説】

稀代の奇術師フーディニの“愛は錠前屋をあざける”との格言がタイトルの後に続き、金持ちの令嬢を好きになったキートンは、彼女にピシャリとその家の門を閉められ、“立派な事業家になったら結婚してあげる”と言われ愕然とする。フラフラと町に出た彼は、タクシーを拾おうとする紳士の落とした財布を拾って、彼に返そうとするが何度か渡し損ねて中身だけ貰ってしまう。そして、その大金に目をつけた詐欺師が、引っ越しで今から運ばれようという家具を、持ち主のいない隙に彼に泣きついて無理矢理買わせる。そして、キートンは近くの吊しの洋服露地商の値札を、その前に停めてあった馬車の値段と勘違いして、わずからドルでそれを手に入れ、家具を満載して出発。手信号に噛みつく犬をボクシング・グローブで撃退し、横着してマジック・ハンドで合図していたら、交通整理の巡査を殴り倒していた。やがて、馬車は警官の大パレードに突入。折悪しく、その荷台の上で過激派の爆弾が炸裂したため、キートンは何百という警官に追われるハメになるのだが……。サイレント喜劇作家に共通してあった、警官への恐れと嘲笑をアナーキーに笑い飛ばす、短篇期のキートンの、どこか“わらしべ長者”を思わせるような物語展開の快作だ。

【クレジット】

監督	バスター・キートン	Buster Keaton
出演	バスター・キートン	Buster Keaton
	ヴァージニア・フォックス	Virginia Fox
	ジョー・ロバーツ	Joe Roberts